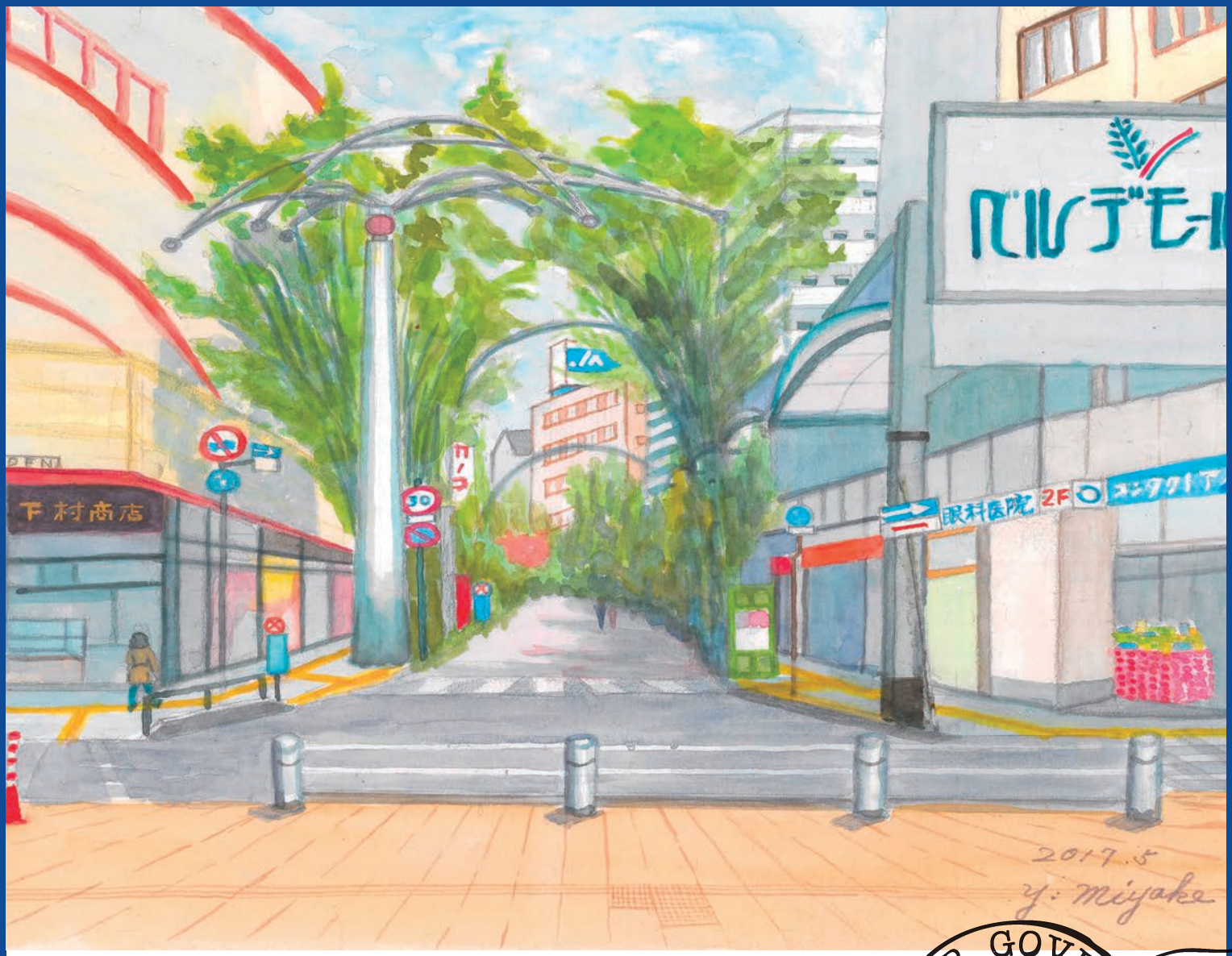


GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2018-19

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER No.11 MAY. 2019

CONTENTS

ガバナーズレター …… 1
地区大会速報 …… 5
尼崎グループIM …… 7
神戸第２グループIM …… 7
余島国際青少年リーダー養成セミナー …… 8
ローターアクト指導者育成セミナー …… 9
2019学年度 米山記念奨学生・カウンセラーオリエンテーション …… 9
公開職業奉仕委員会 …… 10
グローバル補助金VTTカンボジアプロジェクト… 10
地区補助金奉仕プロジェクト（神戸垂水、三木みどり）… 11
2019年会長エレクト研修セミナー（PETS） … 12
新会員紹介 …… 13
ご寄付感謝 …… 13
訃報 …… 14
米谷 収パストガバナーを偲んで …… 15
ガバナー事務所からのお知らせ …… 16
地区予定 …… 16
コーディネーターニュース …… 17
出席報告 …… 18

GOVERNOR Muneyoshi Yano

Rotary | BE THE INSPIRATION

国際ロータリー第 2680 地区
ロータリークラブ会長、幹事の皆様

国際ロータリー第2680地区
ガバナー 矢 野 宗 司（加古川中央）

新しい元号「令和」になって、初めてのガバナー月信です。地区大会では、竹田恒泰氏の講演の中で、「大化」から始まる元号は日本が属国の立場から独立した証であり、現在の世界で唯一元号を使用する日本はそれを誇りにすべきである、という話に感銘を受けました。また、３月号のガバナー月信で、日本のロータリー思想の原点の最後に渋沢栄一を取り上げましたが、新しい紙幣に登場するということで、今後、渋沢栄一の「道徳経済合一論」とロータリー哲学についての論議が盛んになるものと思われます。

さて、今月は、どうやって日本のロータリーにおける閉塞感を打破していくのか、そのことについて触れていきます。

１．ロータリーの魅力の再認識

まず、どういう理由で私たちはロータリーに入会するのでしょうか。「人類に奉仕するため」とまさしく「超我の奉仕」の志を抱いて入会する人は間違いなくほとんどいないでしょう。むしろ、このことはロータリーと出会って、奉仕の理念を理解してから芽生えるものだからです。

ポール・ハリスがロータリーを創設したころの入会の主流は「親睦と相互扶助」でした。もっと仲間とつながりたい、そのつながりの中で自分の商売もよりよくしたい、それによって初期のロータリーは会員を増やしていきました。これは素直な欲求であり、ロータリーが拡大する原点でもありました。その中で、「相互扶助」については、「Service not self」さらには、「Service above self」のもと、現在ではその要素は低くなってはきましたが、当然、今でも事業でのメリットを得たいと思って入会する人が多いのも事実であり、そのことを「利己的な欲求」として非難することはできません。

一方、「親睦」としてのつながりについて、現代社会はそのつながりの手段が多様化し、また、ロータリー以外にも様々な団体、組織が生まれ、ロータリーに入会する必要性が希薄になってきました。ロータリーに入会する人が減ってきている要因の一つはここにあり、さらに地域経済の疲弊と個人主義による、集団の中でのつながりを必要とせず、個人生活を重視する生き方もその要因となっています。

そういう厳しい状況の中において、ロータリーにおける会員維持並びに会員増強を図るには、改めてロータリーの魅力を再認識する必要があります。

ロータリーの魅力とはいったい何なのでしょうか。

本年度、私はロータリーデーとして、「ひょうご五国＋ワールドフェスタ」を開催し、また、地区大会を加古川で行いました。いずれも大きなチャレンジでした。フェスタについては、地区としては初めての大掛かりなイベントであり、その企画、さらに協賛金の募集など多くの困難に対して、丸尾実行委員長、各グループのガバナー補佐、実行委員会メンバー、クラブ、ロータリアン、ロータリーファミリーの協力など、多くの力が結集され、国内最大級のロータリーデーとなりました。また、加古川での地区大会については、30年ぶりの加古川での開催ということで、大変な作業を加古川中央RC並びに東播第2グループのメンバーが協力してくれました。彼らにとって、ロータリーは魅力のないものなのでしょうか。もし、そうであるならば、あれほど熱心

ロータリーは多くの著名な人々を魅了してきました。
今月は、著名なロータリアンを紹介します。

に行動しなかったでしょう。

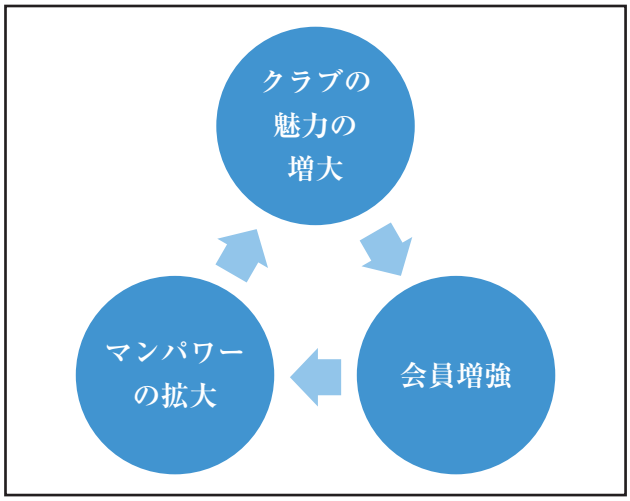
これらのチャレンジを通じて、私が特に感じたのはロータリアンのマンパワーです。様々な業種から集まるロータリアンだからこそ、その潜在能力を結集すれば、多くの障害を克服して、不可能と思われることも可能にする、そのロータリーの魅力をまさに実感しました。そして、物事を成就した後の共有体験がロータリアンの絆をより強固なものにしていきます。

ロータリーの最大の魅力は、まさにロータリアンそのものです。見返りを求めず、「無償の奉仕」に務める、その生きざまに、ロータリーの魅力があります。かつて、125ヵ国で推定35万件以上もあったポリオを他の諸団体との協力の下、２ヵ国33の症例にまで減少させたその原動力こそ、まさに不可能を可能にするロータリーの「無償の奉仕」であり、ロータリアンのマンパワーであります。このような世界規模の民間団体はまさにロータリーを除いて他には存在しません。

会員増強とは、まさにそのマンパワーの強化に他なりません。物が燃え続けるためには新しい酸素が必要であるように、組織が活性し続けるためには、新たな人財が加わり、新たな発想が必要です。従って会員が増えること自体がロータリーの魅力の増大につながります。

４月８・９日に東京で行われた会員基盤向上セミナーにおいて、2840地区、高崎RCの会員増強についての田中久夫PDGによるプレゼンテーションは圧巻でありました。田中PDGが高崎RCの会長に就任した2014年期首64名だった会員が期末には115名と、実に51名の増加、そして、高崎RCはさらに会員増を続け、現在は150名を超えています。会員増１名や２名といった小さな目標ではなく、最初から50名増という、ある意味、常識を超えた大きな目標を掲げ、それを実現した、その信念と行動力に敬意を表します。

会員が増えることによって、ロータリーのマンパワーが拡大し、それがロータリーの魅力を高め、更なる会員増強につながるというポジティブ・スパイラル、ロータリーの閉塞感を打ち破るのは、「会員は増えない」という固定観念を捨て、今のロータリーの常識を覆すその発想と困難を可能にするリーダーシップです。



また、同じくセミナーの中で、人口に対するロータリアンの比率が最も高い地区として、2500地区（北海道東部）のプレゼンテーションがありましたが、地区内のほとんどの地域の人口が減少している中で、2015年期首2201人、2018年期首2271人とロータリアンの数は着実に増加しており、ロータリアンの人口に対する比率はむしろ上昇しているという事例発表でありました。

さらに４名しか会員がいなかったクラブが、とにかくそれぞれが１名を増強する、そうでなければクラブは解散せざるを得ないということで、強い覚悟のもと、それを達成し、さらに８名がそれぞれ増強に務め、現在は16名にまでなったクラブもあります。これらを単に例外ととらえるのではなく、是非、これらの成功事例に学びましょう。そこに大きなヒントとチャンスがあります。

２．会長のリーダーシップ

会員基盤向上セミナーでは、うれしいことがありました。横山守雄第３ゾーン公共イメージコーディネーターのプレゼンテーションの中で、My ROTARYの登録率において、当地区と2660地区

の２つの地区が60％を超えたと評価をいただきました。

地区大会でも報告しましたが、2018年１月末の時点では21.54%にしか過ぎませんでした。今日現在、60.33%、その伸び率は他の地区を圧倒しています。

地区の目標であった50%も、73クラブ中56クラブが達成をしています。目標の達成に向けて、幹事や担当委員長の中にはパソコンが苦手な会員の会社にまで出向いて指導されたと聞きます。

地区の一年間の歩み（5つの感謝）

My ROTARYへの登録に感謝

■4月11日現在　My ROTARY登録率　60.33%
目標の50%達成クラブ　56／73クラブ（4分の3以上のクラブが達成）
昨年の3月18日（PETS）登録率23.69%　50%達成クラブ　7クラブ
会長エレクト23／73
・2019年1月時点　上位4位

地区名	2018年1月	2019年1月	伸び率	
2660（大阪北部）	36.27%	57.35%	+21.08%	※59.0%（2月7日）
2770（埼玉南東）	32.10%	52.97%	+20.87%	
2530（福島）	45.27%	52.55%	＋ 7.28%	※52.7%（2月12日）
2680	21.54%	51.10%	+29.56%（+38.79%）	

地区大会でのPPT（一部変更）

まさに、ガバナー補佐やクラブ会長・幹事のリーダーシップの賜物です。

リーダーシップについては、様々な定義がありますが、私は常々リーダーシップとは「人を惹きつけ、大勢を抱え入れ、志を持って　大事をやってのける能力」と定義しています。閉塞感の打破へ、最も影響力があるのが会長のリーダーシップです。

有名なパレートの法則（80：20の法則）に倣い、働きアリの法則があります。よく働くアリと普通に働くアリ、働かないアリの比率が２：６：２であるという法則です。クラブに当てはめた時、貴方のクラブではどうでしょうか。熱心にロータリー活動をする人、例会までは参加する人、あまりロータリーに関心がない人。会長の大事な任務の一つは会員のモチベーションを上げることにあります。そして、アクティブな会員を増やす、そうすることによって、大勢を抱え入れることにあります。

働きアリの法則

優秀（20%）
普通（60%）
サボリ（20%）

これまで、PETSや地区研修・協議会の会長部門で会長には何回か話をしましたが、例会の主役は会長です。確かに卓話は30分ですが、同じ人が一つの年度に何度も卓話をすることは通常ありません。それに対して、会長の時間は平均して５分×42回＝210分、つまり３時間以上にもなります。貴重な時間を割いて例会に参加する会員にそれに値するメリットを与える義務があります。そして、会長の時間は会長から会員へのプレゼントでもあります。亡くなられた深川PDGは「クラブにとって実質の執行権は幹事にある。会長は何をするべきか、会長は例会でアドバルーンを上げて、皆にやる気を起こさせることだ」と話されています。まさに今年のテーマである「Be the Inspiration」です。次期会長も是非、このことを実践してください。

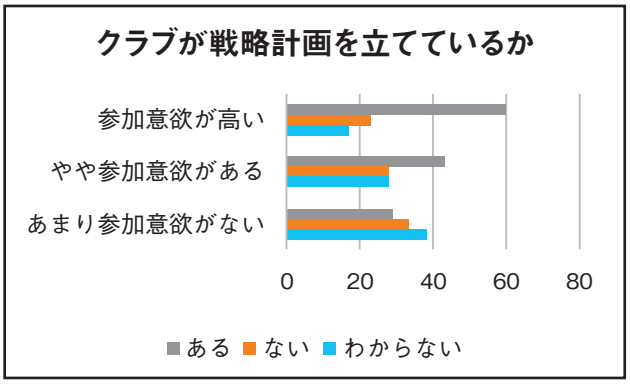
週に１回（あるいは２週に１回）、時間帯はいずれにせよ、例会に参加する、その例会が楽しく、意義を感じるものであれば、先ずはそこにロータリーの存在価値があると言えます。実際、会員の中には自らの事業が多忙のため、ロータリーとの関わりをこのレベルでとどめている会員も多くいます。

アンケートでは、毎回の例会を楽しんでいるかという問いに対して、64%がどちらでもないと答えています。例会の大切さを強調しながら、マンネリ化した例会を続けていけば、いずれ会員の例会への意欲が減退し、退会への道に至るかも知れません。会長によって、アクティブな会員を増やすことができれば、クラブにおける閉塞感はきっと和らぐに違いありません。

アメリカの大統領の中には多くのロータリアンがいます。33～35代大統領　トルーマン、アイゼンハワー、ケネディ　37～41代大統領　ニクソン、フォード、カーター、レーガン、ブッシュ　そして、43代のブッシュ大統領もロータリアンでした。

３．戦略計画の重要性

ロータリアンに対して、クラブが戦略計画を立てているかという質問への回答を見ると、因果関係があることがよくわかります。



すなわち、戦略計画を立てているクラブほど参加意欲が高いロータリアンが多いということです。言い換えると、ロータリアンの参加意欲を高めるためには、クラブの戦略計画が必要ということになります。地区内のアンケートでは、戦略計画委員会があるクラブは15クラブで、全体の21%にしか過ぎません。クラブ規模の関係で委員会を作ることはできないが、計画そのものは立てているクラブもありますが、約70%が戦略計画を立てていないということになります。

従来から、ロータリーは単年度制ということで、その役職は原則として一年交代でありました。それ自体はロータリーの平等性として評価され、また、会員が色々な役に当たることによって、様々な機会を提供することになります。しかしながら、リーダーが毎年交代することによって、クラブの目標に整合性が伴わず、近視眼的な見方しかできない懸念も生まれます。中・長期の目標を明確にすることによって、会員のベクトルを同一方向にすることで会員の意欲は確実に高まります。

また、クラブの戦略計画を考える時に、一律的な考えは当然当てはまりません。どうしてもRIは立場上、一律的に多くの目標を提示し、個々のクラブにとっては、その目標の達成に汲々としている現実があります。ロータリーの活動は実に多様です。すべてのクラブが金太郎飴のようにオールマイティになる必要はなく、特定の活動に特化し、オンリーワンとなり、それによってクラブの独自性としての魅力を作るのも一つの戦略です。

４．You are Rotary. Participate！

1960-61年度、日本で初めて国際大会が開かれた時のテーマはYou are Rotary.でした。そして、1968-69年度、東ヶ崎　潔氏が日本から初めてのRI会長になった時のテーマはParticipateでした。あなたがロータリーなのです。そして、ロータリーには様々な魅力的な活動があります。まず参加し、行動しましょう。

青少年奉仕で若者の未来のために情熱を傾けるも良し、国際奉仕のもと海外への支援に汗をかくのも良し、地域への社会奉仕で地域とのつながりを強めるのも良し、米山が命と言って留学生を支援して懸け橋を育成するのも良し、ロータリーは私たちの人生に様々な機会を提供してくれます。かつて、坂本龍馬が西郷隆盛を評した如く、ロータリーは小さく叩けば小さく響き、大きく叩けば大きく響きます。是非、大きく叩きましょう。

加古川ベルデモール：スペイン語の緑を表す「ベルデ」と英語の木陰のある散歩道を表す「モール」JR加古川駅南の玄関口は全面に敷かれた石畳とレトロデザインの街燈、数々のモニュメントが並びます。平成元年、画期的な発想で誕生したモールは30年間、訪れる人をずっと出迎えてきました。

ウィンストン・チャーチル（英国首相）「自由な世界の隅々でロータリークラブの行ってきた善行を知らない者はない」
鉄の女と呼ばれたマーガレット・サッチャー英国首相もロータリアンでした。

3/23土

エクスカーション

新会員セミナー

多様化推進セミナー part2

地区指導者育成セミナー

講師

前田RI会長代理

矢野ガバナー

宮里 唯子氏

鈴木 一作氏

ロータリーファミリーの集い

青少年育成セミナー（一般公開講座）

らんま先生

RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

ダグラス・マッカーサー元帥　1949年の東京ロータリークラブRI復帰のチャーター伝達式で祝辞を寄せる。
後に、東京ロータリークラブの名誉会員となる。

3/24日

一般公開講座

竹田 恒泰氏

本会議講演

玉岡 かおる氏

本会議フィナーレ

会員家族懇親会

友愛の広場

アルベルト・シュバイツァー博士　2016年11月号の「ロータリーの友」で、
静岡RCの吉田幸一氏より「シュバイツァー博士の遺したもの」の寄稿が掲載されています。

尼崎グループＩＭ

４月６日(土)◆都ホテル尼崎

ガバナー補佐　**福田　勝**(尼崎南)

４月６日(土)、開花が遅れていました桜が丁度満開となりIMの集客が心配されましたが、切札「滝川クリステル」さんの来尼が功を奏し(？)、当尼崎グループのIMが200名のご参加を得て盛大に開催されました。

オリンピック招致成功の一翼を担われた「おもてなし」の裏話と「2020に掲げた大きな目標～命と向き合う日本～」と題して、Project Zeroで犬猫殺処分０を目ざし、Project Redで絶滅危惧種の動物を救い生態系を守る活動を応援されているお話を伺い、ロータリアンとしてその活動の根幹にある「思いやりの心」に感銘を受け、私達の活動に大きな示唆を与えて頂きました。

稲村尼崎市長始め矢野ガバナーと明々後年までのガバナー予定の皆様のフルメンバーでのご来席、及びパストガバナー、ガバナー補佐の総勢20名ものご来賓の皆様と近隣並びに尼崎グループの会員の大勢のご参加を得ましたことはこの上もないよろこびでした。

神戸第２グループＩＭ

４月13日(土)◆シーサイドホテル舞子ビラ

ガバナー補佐　**澤村　正夫**(神戸垂水)

国際ロータリー2680地区　2018-19年度最後のIMをシーサイドホテル舞子ビラにて開催することができました。矢野ガバナーをはじめ20名の来賓の方々そして第２グループの140名のロータリアンに囲まれた総勢160名にご参加いただきました。

「そこにある危機　ロータリアンを考えよう」をテーマに第一部では丸尾研一パストガバナーの基調講演で、シェイクスピアを例にとりクラブの大切さを今一度考え、ロータリーは自己の研鑽の場所であることを熱い情熱をもってお話を頂きました。

第二部では第２グループの7人の会長より１人５分という短い時間にもかかわらず、この10ケ月をすぎてのすばらしい実践報告をしていただきました。

第三部では演歌の心、日本の心の歌を、歌手吉野悦世さんに披露していただき、第四部で懇親会を楽しく過ごすことができたと思います。

今回のIMが、無事に終了したことについて本当に皆様のご支援、ご協力に感謝申し上げます。

トーマス・マン（ドイツ・小説家・ノーベル文学賞受賞）
1933年、ドイツから亡命し、スイスやアメリカで生活する。

余島国際青少年リーダー養成セミナー
（2018-19年度 RID2680 Cross-promotion事業）

3月28日（木）～31日（日）◆神戸YMCA余島野外活動センター

青少年奉仕委員長　坂東　隆弘（柏原）

2680地区のRYLAの聖地、瀬戸内海は小豆島の離島、余島で「余島 国際 青少年リーダー養成セミナー」が春休みの３月28日（木）～31日（日）の日程で開催されました。

早朝、三宮に集合し、バスにて岡山港へ、バスを降りフェリーに乗り換え小豆島、そして余島へ。

受講生はインターアクター22名と青少年交換の来日生７名の男子11名、女子18名、合計29名。

カウンセラーは、以前RYLAセミナーを修了したRYLA学友会のメンバー男女４名ずつの計８名。

このセミナーの校長に相当するディーンもそして副ディーン、フォーラムリーダーもRYLA学友のメンバーが担当しました。彼らは準備期間から計画企画に加わりすすめてきました。そしてそれをサポートするローターアクター３名、米山学友１名とこれぞまさにクロスプロモーション事業です。ロータリアンも各委員会からそれぞれ参加いただき、ガバナーをはじめ16名ものご参加をいただきました。当地区のRYLAセミナーのプログラムに沿って高校生用に少しアレンジしながら進めていきました。

15時から開講式。岩崎伸哉副ディーン（RYLA学友）の司会で始まりました。矢野宗司ガバナーのご挨拶。石田真崇ディーン（RYLA学友）の挨拶と諸注意の後、「このセミナーに期待すること」と題し、オープニングの基調講演を矢野ガバナーから１時間。高校生用のとても分かりやすい講義でした。

その後、班分けで各４班担当のカウンセラーが自班のメンバーを発表しました。戸惑いと緊張が走りました。各班キャビンに帰り、自己紹介をしてお互いを知り、夕食は、ウエルカムパーティー、もちろんお酒はありません。食事の後は歌の練習とプログラムは進行しました。

２日目、この日は講義が３本。ロータリー財団奨学生で認定特定非営利法人Future Code 代表理事／医師の大類隼人先生の講義、彼のハイチでの活動や、彼自身の生き方にかなりの衝撃を受けたようでした。そしてRYLA学友でダボス会議のメンバーでもある吉川雄介氏の海外での活動経験や「わかるとできるの違い」について自分の体験を紹介しながらお話されました。

午後からは、アジア福祉教育財団難民事業本部の中尾秀一氏が、国内外の難民について時にはワークショップも入れながら分かりやすくお話いただきました。思索の時間、レクリエーションとプログラムは続き、明日のフォーラムに向けてのフォーラムテーマも発表され、ほぼ一日をかけて班ごとにバズセッションをして、議論し練熟させ、それによってお互いを知り極めて精神的な親睦につなげました。

３日目は、素晴らしいフォーラムが展開され、カウンシルファイアーの後、いつまでもキャビンタイムは続きました。最終日は、安行英文学友委員長のこのセミナーにふさわしい締めの講義をいただきました。名残惜しそうに、余島を後にし、小豆島の寒霞渓を回り、帰路につきました。

ニール・アームストロング（月への第一歩を踏みしめた宇宙飛行士）
最初の宇宙飛行士のアレン・シェパード、さらに大西洋単独横断のチャールズ・リンドバーグもロータリアンでした。

ローターアクト指導者育成セミナー

4月7日(日)◆豊岡市民会館

地区ローターアクト代表　青山　翔太(柏原)

豊岡ローターアクトクラブのホストにて指導者育成セミナーが開催されました。今回は3部構成になっており、『国際奉仕プロジェクトの報告』や『地区ローターアクト代表を経て、現在ロータリアンとして活躍されている奥田裕様の基調講演』、『次年度役員に向けた役職部門会』を行いました。国際奉仕プロジェクトを次に繋げていきたいといった意気込みや奥田様の代表時代の経験談など、現役のローターアクターにとって考えさせられることが多い時間であったのではないかと思います。また、次年度役職者に向けて勉強会を行い、改めて、次年度がスタートし始めているのだと感じました。

2019学年度米山記念奨学生・カウンセラーオリエンテーション

4月7日(日)◆神戸三宮東急REIホテル

米山記念奨学委員長　秦　紳一郎(洲本)

2019学年度の当地区の奨学生は、継続奨学生8名を含め13カ国29名です。新規奨学生は本オリエンテーションへの出席が義務づけられており、出席して初めて米山記念奨学生として認められる事になります。

当日はカウンセラーのロータリアン、奨学生、学校関係者と地区関係ロータリアン総勢99名の出席を得て、午前から午後6時30分までみっちり且つ丁寧に執り行いました。カウンセラーには奨学生との接し方や危機管理など、奨学生には本奨学事業の説明と奨学生としての心得や義務などを詳細に説明します。カウンセラーが初めての方も奨学生も、奨学期間が終わる頃にはきっと充実感を得て頂けると信じています。

トーマス・エジソン（発明家）ロータリーの新補助金制度である「未来の夢計画」が人道奉仕の革新的アプローチとして「エジソン賞」を受賞。

公開職業奉仕委員会（全５回）

職業奉仕委員長　吉岡　博忠（伊丹）

目的を職業奉仕の基本理念を地区内に広く伝播し会員の理解を促進することとし、公開委員会次第を、共通テーマを「ロータリーの歴史からひもとく職業奉仕」とし、「委員による講話」と「グループディスカッション」で構成しました。参加者を経験年数５年未満と15年以上の会員を対象としました。

「委員による講話」では、ロータリーの歴史の断面から一義的に割り切ることができない思想を持論の展開により職業奉仕理念の解説をいたしました。

また「グループディスカッション」では、ベテラン会員には、あらためて理念を深耕し、ロータリーの魅力を語っていただき、経験年数の新しい会員には、ロータリー入会の楽しさから理念の大切さを学ぶ機会の導入にしていただきました。

	日　時	場　所
第１回	９月15日（土）	和田山ジュピターホール
第２回	12月15日（土）	JEC日本研修センター伊丹
第３回	１月27日（日）	加古川商工会議所
第４回	２月２日（土）	ホテルニューアワジ夢海游
第５回	３月９日（土）	神戸ポートピアホテル

アンケートにより公開委員会に「満足した」、委員による講話に「よく理解できた」が多数を占める結果を得ました。

2680地区がロータリアン思想・理念の指導的立場を維持できる一助になったと考えます。

グローバル補助金VTT（GG1981392）
カンボジア・カンボジアにおける病理人材育成プロジェクト

３月17日（日）～４月１日（月）◆神戸

GG1981392代表連絡担当者　松谷　齊泰（神戸東）

このプロジェクトの目的はカンボジアにおける出生率を高めることにあります。その大きな阻害要因の一つとして女性の子宮頸がんによる死亡率の高さがあると言われております。子宮頸がん率を抑えるには病理の問題が大きな阻害要因で有りますが、カンボジア及び日本産婦人科学会の共同プロジェクトでは特に病理技師の質と共に量の不足が一番大きな要因であることが指摘されております。

昨年６月に３つのカンボジア国立病院を訪問・調査の結果、同じ結論に至りました。そこで、神戸東RCとプノンペンメトロRCが提唱クラブとなって、カンボジア病理技師に、神戸常磐大学と神戸国際医療交流財団の協力のもと２週間の研修を行い、この分野の人材を育成することにしました。特に病理技師の質を高めるため、今までカンボジアの病院の現場では不明確にされていた質の高い病理標本を創るための手順書を作成することになりました。手順書に添って作成される質の高い標本はカンボジアにおける病理全体の問題を解決する大きな一助になるだけでなく、将来の人材育成に大いに貢献するものと思われます。今後は８月にフォローアップとしてカンボジアを訪問し、神戸での研修を評価する予定です。

このグローバル補助金を獲得するに当たり、矢野ガバナー始め多くの方々のご指導、ご援助を頂きました。さらに神戸RC、神戸西RC、神戸南RC、神戸東灘RC、神戸六甲RC、神戸ベイRC様より多額の拠出金を頂きました。これらのご支援なくして、このプロジェクトは成り立たなかったと思います。大変感謝しております。

ウォルト・ディズニー
ミッキーマウスの生みの親もロータリアンでした。

神戸垂水ロータリークラブ

垂水区民と区内中学吹奏楽部との交流コンサート

▶3月23日（土）
▶舞子ビラ　「あじさい」ホール
プロジェクト予算総額：679,558円　地区補助金額：339,779円

神戸垂水ロータリークラブ藤田和昭会長の開会挨拶、来賓の垂水区副区長井上伸一氏の挨拶の後、コンサートが始まった。

午前の部は、神陵台中学、桃山台中学、垂水中学の吹奏楽部が演奏を行い、各校の演奏後に参加者全員で「ふるさと」を合唱した。午後の部は、本多聞中学、舞子中学、福田中学の吹奏楽部が演奏を行い、午前の部と同様に参加者全員で「ふるさと」の合唱を行った。合唱の後、参加校には記念品としてメトロノームを寄贈し、吹奏楽部の部員にはロータリーロゴ入りのボールペンを贈呈した。

最後に星島一夫次期会長の挨拶で閉会となった。一般参加者にはプログラムとともにロータリーのパンフレット「ロータリーの仲間になりませんか」を配布した。参加者は学生・学校関係者220名、垂水区民400名、ロータリー関係者30名であった。

（文責：社会奉仕委員長　木下　保）

三木みどりロータリークラブ

外国にルーツのある児童の職業模擬体験支援事業

▶3月26日（火）
▶キッザニア甲子園
プロジェクト予算総額：370,914円　地区補助金額：185,457円

外国にルーツのある児童24名と児童をサポートするボランティア14名、三木みどりRCメンバー８名が参加。子供２名にサポーター１名のグループ11班にわかれ、100種類以上の職業やアルバイト・お客様等から４～５種類を選び、働く事でお給料をもらったり、お客として代金を支払ったり、車を運転する為資格を取得したり、銀行で口座開設等、様々な体験をした。

限られたコミュニティの中で無意識のうちに制限が掛かっていた職業に関する情報や体験を経験出来たことによって、将来の夢や目標を持つ一助となり日々の生活の活力を得ることができた事業だと確信します。

（文責：国際奉仕委員長　岩谷　司）

カーネル・サンダース（ケンタッキー・フライド・チキンの生みの親）「ロータリークラブのメンバーとして迎えられた時、私は彼らのスローガンに心打たれた。『最も奉仕する者が最大の利益を得る。わが身の前に他人に奉仕せよ。』以来、私は物事を行う際、これら２つのモットーに従うように努めてきた。」

2019年会長エレクト研修セミナー(PETS)

3月17日(日)◆神戸ポートピアホテル　本館B1F　偕楽の間

次期副代表幹事(大会・研修会管掌)　寺本　督(神戸)

2019年会長エレクト研修セミナー（PETS）が、３月17日神戸ポートピアホテルで開催されました。滝澤功治次期地区研修リーダーの開会挨拶に続き、三木明RI理事、矢野宗司ガバナーの挨拶がありました。

そして、まず「クラブ会長の役割と責任～活気あるクラブにするために～」と題し、滝澤功治次期地区研修リーダーより講演がありました。特にロータリー章典にある「地区の目的は、ロータリークラブを強化し支援することである」ということを強調されました。

続いて、ガバナーエレクトより、「RI会長テーマと地区運営方針」について説明を致しました。本年１月13日より20日迄サンディエゴで開催されたインターナショナルアッセンブリーに、参加してきたこと。マーク・ダニエル・マローニー次期RI会長は、25歳でアラバマ州ジケーター・ロータリークラブに入会し、34歳で地区ガバナーになられたこと。テーマが、Rotary Connects The World（ロータリーは世界をつなぐ）であり、ロゴマークは、中央の青色が地球を表し、４色の人は人種を表し、上下左右のロゴは東西南北の地域を表していることなどを説明しました。

次に、地区運営方針について、ガバナーの行動指針「地域社会をつなぎ（Connect）、多様性に富んだ会員組織へ変革する（Transform）」そして、地区運営方針並びに重点目標について、説明を致しました。その後、上谷佳宏次期地区財務委員長より、「地区予算案について」説明があり、最後に村尾憲一郎次期代表幹事より、「地区主要行事予定等の事務連絡」があり、セミナーを終えました。

休息の後、次期ガバナー補佐を中心にグループ毎に、公式訪問、IMなどについてテーブルディスカッションがなされて、グループ毎の意思疎通がはかられました。

最後に全体会議として、まず、武田寿子次期会員増強委員長より、「会員増強のための会員基盤のTRANSFORM」と題し講演がありました。特に、クラブ会員増強委員会についても、女性や若年層などを加えた委員会構成にするよう要望されました。次に、釜谷知沙子次期ローターアクト地区代表から、「ロータリーとローターアクトのCONNECT」と題し、ローターアクトについて、基礎から活動の説明がありました。続いて、石丸鐵太郎次期ロータリー財団委員長が、「ロータリー財団の活動」について詳しく解説をされました。最後に、秦紳一郎次期米山記念奨学委員長より、「米山記念奨学事業の現況について」と題し、歴史から、現在の活動状況まで詳しく説明がありました。

全体会議の後は、懇親会で、会長エレクト同士、また、多くのパストガバナー、地区役員を交え懇親が深められました。

ヤン・マサリク（チェコスロバキア外務大臣・サンフランシスコ会議にロータリアンの代表の一人として参加）「ここサンフランシスコでは多くの観点から意見が述べられたが、国際連合は一つの点で全員が一致していた。それは、平和への意志であり、言葉に絶するほど悲惨な昨日の後により良い明日を築こうという意志である」

新会員紹介・一緒にロータリーライフを楽しみましょう(敬称略・クラブ順)

尼崎東

西村　太志
広告代理業
2/27入会

木村　長和
扇子・うちわ製造配布
3/6入会

内堀健太郎
塗装及び装飾
3/6入会

尼崎南

宮﨑　健一
建設
3/14入会

篠山

阿形雄之進
税理士
4/3入会

神戸須磨

彦坂　達也
建築
4/1入会

神戸須磨

益野　禎之
警備保障
4/1入会

竹垣　　薫
建築設計
4/1入会

神戸東

神田　孝平
歯科医
1/8入会

髙橋　惠信
仏教寺院(天台宗)
1/8入会

田島　勝也
酒精飲料(ビール醸造)
2/19入会

小林　一也
不動産管理
2/26入会

神戸東

バルワニ・ムケシ
真珠原料輸入
3/5入会

芳賀　博之
電気制御器MD
3/5入会

古賀　健一
ビルメンテナンス
3/12入会

池上　勝義
児童施設
3/19入会

加古川平成

畑山　哲人
身体障害者施設
4/3入会

三木

横尾加名子
小児歯科
4/5入会

西脇

笹倉　照暉
仏教(真言宗・智山派)
4/1入会

洲本

田中　靖弘
新聞発行
3/19入会

池田　俊亮
商業銀行
4/2入会

島田　雄宇
介護事業
4/2入会

竹下　一宏
証券業
4/2入会

豊岡

和田　和也
新聞発行
3/15入会

アール・ウォーレン（カリフォルニア州知事・米国最高裁判所長官）
20世紀のアメリカ法律家の中で最大の功労者とされる。

ご寄付感謝・ありがとうございます（敬称略・クラブ順）

ベネファクター

持田　俊介
（神戸東灘）

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

赤澤　健一
（西宮）

森村　安史
（西宮）

岡田　　洋
（西宮）

藤井　俊伸
（西脇）

藤本　武彦
（西脇）

ポール・ハリス・フェロー

横山　道男
（神戸東灘）

田井　三治
（西脇）

石田　昌之
（豊岡円山川）

米山功労者（7回）

藤本　武彦
（西脇）

米山功労者（2回）

濵田　秀世
（神戸）

米山功労者（1回）

永川　太郎
（姫路西）

ご冥福をお祈り申し上げます

故 白田 勉 氏（神戸東）
3月16日　享年66歳

故 田寺 康啓 氏（姫路西）
4月3日　享年78歳

レスター・ピアソン（カナダの首相、ノーベル平和賞受賞）20世紀後半のカナダで最も偉大な政治家と評される。
昨年の国際大会が開かれたトロントの国際空港は彼の名にちなんで、トロント・ピアソン国際空港と呼ばれる。

米谷　収パストガバナーを偲んで

パストガバナー　故 **米谷　収** 氏（神戸南）

2019年３月24日逝去　享年85歳

平成31年３月24日、米谷収パストガバナーが召天されました。当日は国際ロータリー2680地区 地区大会の当日でした。体調がすぐれない状況にも関わらず、最後まで地区大会に出席することを切望されていたとお聞きしています。

銀行をご退職されてからの生涯を奉仕活動、ロータリー活動に捧げられた米谷収パストガバナーは、1999-2000年度に2680地区の“20世紀最後のガバナー”となられ、数々の業績を残されました。特に2680地区における通常形態のロータリークラブとしては現時点では最後となっている尼崎中ロータリークラブの設立に大きく寄与されました。

また、神戸南ロータリークラブにおいても要職を歴任され、多くのクラブメンバーにロータリー活動についてご教授いただきました。

神戸南ロータリークラブ会員一同、米谷収パストガバナーの教えを心に刻み、これからもロータリー活動に励んで行きたいと考えています。

米谷収パストガバナーが、安らかにお眠りくださいますよう心よりお祈り申し上げます。

（神戸南ロータリークラブ会長　飯田　健一）

エジンバラ公プリンス・フィリップ（1921年～イギリス女王エリザベス２世の夫）
トロント国際大会でアン王女がポリオ撲滅活動におけるロータリアンの尽力に感謝の意を述べる。

ガバナー事務所からのお知らせ

◆インターアクトクラブの名称変更

柳学園インターアクトクラブが2019年4月9日に、蒼開中学校・高等学校インターアクトクラブ（Interact Club of SOUKAI junior & senior high school）に名称変更となりました。

◆例会場の変更

香住ロータリークラブ

香住文化会館建て替え工事のため（４月より変更）

住　所：〒669-6544　兵庫県美方郡香美町香住区香住104　香住綜合センター内
例会場：香住ロータリークラブ事務所２Ｆ会議室

明石、明石北ロータリークラブ（期間限定）

【期　間】2019年５月７日～７月12日
【場　所】ホテルキャッスルプラザ　３階
〒673-0016　兵庫県明石市松の内２丁目２番地
TEL. 078-927-1111

5月・6月の地区活動予定

日	時	行事名	場所
5月11(土)	10:30～16:30	2019年地区研修・協議会	神戸ポートピアホテル
12(日)	11:00～	IYFR神戸フリートJAPAN　春の懇親会	活魚料理「源平」
19(日)	10:00～12:00	第９回青少年交換小委員会	JEC日本研修センター
	12:30～15:30	神戸まつりポリオ撲滅パレード	フラワーロード
	13:00～17:00	2018-19年度青少年交換長期来日生第8回・ 2019-20年度派遣候補生第7回オリエンテーション	JEC日本研修センター
	13:45～17:00	2019年規定審議会報告会ならびに立法案検討会	三宮コンベンションセンター
22(水)	17:30～20:00	第７回補助金小委員会	神戸三宮東急REIホテル3F　ローズ
23(木)		第41回RYLAセミナー（～26日）	神戸YMCA余島野外研修センター
		青少年交換長期来日生東京旅行（～26日）	
26(日)	13:30～	第12回増強拡大オープン委員会inノエビアスタジアム	ノエビアスタジアム神戸
28(火)	16:00～17:30	第10回地区運営会議	ガバナー事務所　724号会議室
6月 8(土)	10:30～13:00	2019-20年度会員増強セミナー	神戸ポートピアホテル
9(日)	13:30～15:00	2019-20年度第１回米山記念奨学委員会	三宮グランドビル
	15:30～18:30	米山奨学生・学友研修交流会	三宮グランドビル&ケーニヒスクローネ本社
13(木)	17:00～	第４回ガバナー諮問委員会	神戸ポートピアホテル　南館B1F　ローズ
16(日)		第41回ローターアクト地区年次大会	ゆめタウン　ポップアップホール
23(日)	13:30～17:00	2019-20年度第１回ロータリー財団委員会	神戸ポートピアホテル　本館29F　聚景園
25(火)	16:00～17:30	第11回地区運営会議	ガバナー事務所　724号会議室
27(木)	18:00～20:00	感謝の集い	神戸ポートピアホテル　本館30F スカイグリルブッフェ　GOCOCU ～五国のめぐみ～

松下幸之助（パナソニック創業者・大阪RC）経営の神様「ロータリーに行けば色々な人と会いお話が聞ける。若い人とも気軽に話ができる。」とロータリーを愛した。他にもロータリアンには多くの著名経営者がいる。

Rotary
Zones 1 & 2 & 3
コーディネーター
NEWS
2019年５月号
発行：Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

■ 「ロータリーの未来のビジョン」

国際ロータリーは、戦略計画委員会がロータリアンを対象に３年に一度調査をしています。最終は2017年に実施されています。

2017年調査は戦略計画の策定と、ロータリーの将来に関するビジョンについてロータリアンにアンケート調査しました。今回はローターアクター、学友、ロータリーの職員にも広げました。総計28,000人を超える参加人数でした。

結果、

＜強み＞

①クラブ例会を通じて友情と親睦を深めている。
②長期的なメンバーシップ（会員制）を強く望んでいる。
③ロータリーを通じて地元地域ならびに世界をより良くする機会が与えられていると感じている。
④関心を示している分野のほとんどは、ロータリーの重点分野及びポリオ撲滅活動によって網羅されている。

＜課題＞

①若年層と女性会員とローターアクター、学友は若年層と女性会員の割合が高まることを望んでいる。
②情報の透明性と説明責任は最優先事項であるがこの分野で後れを取っている。
③クラブが戦略計画を立案すればするほど、会員の満足度が高まり、ロータリーの将来に対する楽観的な見解が増える。
④かなりの割合のロータリアンが、変化のペースに苛立ちを感じている。
⑤多くのロータリアンが、所属クラブがより多くの社会奉仕と国際奉仕のプロジェクトに参加することを望んでいる。
⑥プロジェクトや活動に十分参加しないクラブは、参加意欲の低下や会員減につながる恐れがある。

このような結果にて、ビジョン声明「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。」が出されました。

第２ゾーンロータリーコーディネーター　田中 正規（西尾RC）

■ 「ストーリーテリングの重要性」

昨年の３月に地域リーダー就任にあたってシカゴの研修で学び、今でも鮮明に覚えていることの一つに、「ロータリーをストーリーで語ろう」があった。ストーリーで語ることで相手に理解されやすく、影響を与えられると言う。因みにインターネットで「ストーリーテリング」を検索すると様々な有益な情報が得られた。少し長いが引用する。

「ストーリーテリングとは伝えたい思いやコンセプトを、それを想起させる印象的な体験談やエピソードなどの物語を引用することによって、聞き手に強く印象付ける手法のことです。抽象的な単語や情報を羅列するよりも、相手の記憶に残りやすく、得られる理解や共感が深いことから、企業のリーダーが理念の浸透を図ったり、組織改革の求心力を高めたりする目的で活用するケースが増えている」とあった。ビジネスの世界で「自分の考えや思いを伝える」ことが大切であり、会社の経営理念や商品の説明、またブランディングにおいてもストーリーで語ることは効果的とされる。

この時代、消費者の目は肥えてきて差別化が難しくなってきており、数字や表だけの説明だけではなかなか共感が得られなくなってきているようだ。先ごろ科学者の学会発表においてもストーリー仕立てにすることの必要性を説く「なぜ科学はストーリーを必要としているのか」という大部な本（ランディ・オルソン著、慶應義塾大学出版会）に出会った。副題に「ハリウッドに学んだ伝える技術」とあった。著者は言う「物語は、信じられないくらい強力だ。ビジネスの現場でのツールとしてだけではなく、世界を理解する上でも、その力は計り知れない」と。

ストーリーテリングの特徴は、語り手が自分の言葉に直して語るところに特徴がある。同じ物語でも語り手によって味わいを持たせることができる。

ロータリーを外に向かって語るとき４つのボイスを活用することが推奨されている。「賢明さ」「思いやり」「粘り強さ」「行動を促す力」の４つである。

先日、自クラブの「オープン・ロータリー」で外部の人たち（入会被推薦者含む）を招き、このボイスを使ってロータリーと自クラブの歴史を語る機会があった。25分位の短い時間ではあったが私のスピーチとしてはこのボイスのお陰で珍しくまとまった話ができたように思う。経験豊かなリーダーの世界的ネットワーク、６つの重点分野、青少年交換、インターアクト、ローターアクト、米山記念奨学会、ポリオ撲滅などのロータリーの活動をボイスの視点で整理しながら情熱をもって語ったつもりだ。

ガバナー、ガバナー補佐、地区委員長はロータリー（２つの標語・ロータリーの目的・４つのテスト・戦略計画・中核的価値観・ポリオ撲滅など）を語る機会が多い。その際にボイスを活用しストーリーで語ることを強く推奨する次第である。

第２ゾーンロータリー公共イメージコーディネーター　柳生 好春（野々市RC）

藤山一郎（音楽家・国民栄誉賞受賞・東京西RC）
熱心なロータリアンで多くのロータリーソングを手掛けた。

国際ロータリー第2680地区　2019年３月出席報告

	クラブ名	例会数	平均出席率 %	会員数 7/1の会員数 総数	うち女性	当月末会員数 総数	うち女性	増減 総数	うち女性
尼崎 6	尼崎	4	80.93	31	1	33	1	2	0
	尼崎北	5	90.79	39	0	38	0	-1	0
	尼崎東	4	93.78	44	0	50	2	6	2
	尼崎西	4	79.28	35	2	37	2	2	0
	尼崎南	3	91.41	33	4	36	4	3	0
	尼崎中	4	96.84	23	1	24	3	1	2
	小計		88.84	205	8	218	12	13	4
阪神第一 6	伊丹	3	95.00	42	0	40	0	-2	0
	川西	4	97.44	31	6	31	6	0	0
	伊丹有明	4	98.57	19	0	18	0	-1	0
	川西猪名川	3	88.43	21	3	19	3	-2	0
	伊丹昆陽池	3	100.00	8	0	7	0	-1	0
	西宮イブニング	3	83.33	20	8	20	8	0	0
	小計		93.80	141	17	135	17	-6	0
阪神第二 6	西宮	4	99.52	54	0	55	0	1	0
	芦屋	4	78.18	41	0	42	0	1	0
	甲子園	4	90.00	38	2	40	2	2	0
	西宮夙川	4	92.50	34	3	34	3	0	0
	芦屋川	4	81.15	29	4	29	4	0	0
	西宮恵美寿	3	91.67	24	5	25	4	1	-1
	小計		88.84	220	14	225	13	5	-1
阪神第三 8	宝塚	3	96.49	21	2	19	1	-2	-1
	三田	3	85.96	20	0	20	0	0	0
	篠山	4	100.00	45	0	45	0	0	0
	柏原	4	95.11	49	0	47	0	-2	0
	宝塚武庫川	3	96.97	37	1	37	1	0	0
	三田南	3	100.00	8	0	8	0	0	0
	宝塚中	4	91.44	31	8	31	8	0	0
	HYOGO REC	3	68.86	24	5	25	6	1	1
	小計		91.85	235	16	232	16	-3	0
神戸第一 6	神戸	3	89.04	161	2	158	3	-3	1
	神戸東	4	90.92	113	0	117	0	4	0
	神戸東灘	4	79.46	27	4	28	3	1	-1
	神戸南	4	73.22	82	0	84	0	2	0
	神戸六甲	4	74.69	15	0	16	0	1	0
	神戸ベイ	4	81.20	19	2	20	2	1	0
	小計		81.42	417	8	423	8	6	0
神戸第二 7	神戸西	4	88.16	50	5	49	5	-1	0
	神戸須磨	3	96.67	31	0	29	0	-2	0
	神戸北	4	96.42	18	1	14	1	-4	0
	神戸垂水	3	98.55	25	4	26	6	1	2
	神戸西神	3	98.10	39	1	38	1	-1	0
	神戸中	3	79.82	38	3	38	4	0	1
	神戸モーニング	3	95.40	28	2	33	3	5	1
	小計		93.30	229	16	227	20	-2	4

	クラブ名	例会数	平均出席率 %	会員数 7/1の会員数 総数	うち女性	当月末会員数 総数	うち女性	増減 総数	うち女性
東播第一 4	明石	3	100.00	46	0	48	0	2	0
	明石西	3	97.53	35	2	34	2	-1	0
	明石北	4	92.66	42	0	42	0	0	0
	明石南	4	96.12	21	0	20	0	-1	0
	小計		96.58	144	2	144	2	0	0
東播第二 5	高砂	5	98.59	41	3	41	3	0	0
	加古川	3	91.88	78	0	73	0	-5	0
	加古川中央	4	92.93	59	0	59	0	0	0
	高砂青松	4	84.89	43	2	43	2	0	0
	加古川平成	3	88.09	16	1	16	1	0	0
	小計		91.28	237	6	232	6	-5	0
東播第三 5	三木	4	99.04	51	0	52	0	1	0
	小野加東	3	99.20	45	1	48	1	3	0
	北条	3	100.00	37	2	38	2	1	0
	西脇	4	95.67	46	0	46	1	0	1
	三木みどり	3	98.92	32	1	31	1	-1	0
	小計		98.57	211	4	215	5	4	1
淡路 5	洲本	4	87.11	33	1	34	0	1	-1
	南淡路	5	91.87	29	3	32	4	3	1
	淡路三原	3	92.98	18	1	20	1	2	0
	津名	4	85.78	31	1	32	1	1	0
	あわじ中央	4	93.48	24	0	23	0	-1	0
	小計		90.24	135	6	141	6	6	0
西播第一 6	姫路	4	96.23	82	0	82	0	0	0
	姫路南	4	100.00	75	0	74	0	-1	0
	姫路西	4	85.13	71	2	68	2	-3	0
	姫路東	4	100.00	67	2	68	2	1	0
	神崎	3	84.52	26	0	28	0	2	0
	姫路中央	3	100.00	4	0	4	0	0	0
	小計		94.31	325	4	324	4	-1	0
西播第二 4	赤穂	3	92.04	34	0	34	0	0	0
	相生	4	100.00	34	2	35	2	1	0
	龍野	3	95.67	49	5	43	5	-6	0
	上郡佐用	4	100.00	24	8	23	8	-1	0
	小計		96.93	141	15	135	15	-6	0
但馬 5	豊岡	5	94.48	38	0	38	0	0	0
	生野	4	88.75	22	0	22	0	0	0
	香住	3	94.66	12	0	13	0	1	0
	豊岡円山川	4	93.27	27	0	26	0	-1	0
	和田山	2	100.00	24	2	25	2	1	0
	小計		94.23	123	2	124	2	1	0
合計	73RC		92.32	2,763	118	2,775	126	12	8

◆クラブ数……　73RC
◆2018年７月１日　クラブ会員数……2,763人
◆2019年３月末　クラブ会員数……2,775人
◆2019年３月末女性会員数……　126人
◆2019年３月平均出席率……92.32%
◆増　減……　12人増

千玄室（1923年～・茶道裏千家前家元・国際ロータリー栄誉賞受賞・元RI理事・京都RC）
「一碗からピースネスを」の平和理念のもと、ロータリーのために、献身的に活動を続けておられます。

素材かがやく 日の出 100年の技

日の出みりんのふるさと、稲美町からこだわりの逸品を。

日の出稲美町産
純米本みりん
400㎖

稲美町で契約栽培されたもち米100%使用。
上品な甘みと濃厚でコクのあるうまみが感じられる、「飲めるほどにおいしい」自慢の逸品です。

稲美町小・中学校学校給食さわらの照り焼きに採用されました。(2019.2月)

播州錦
稲美山田錦
特別純米酒
720㎖

稲美町産山田錦100%使用。
豊かな香りとキレ、後口のすっきりとした飲みやすいお酒に仕上げました。

兵庫限定
播磨の本格麦焼酎
六条の雫
720㎖

稲美町で育まれた六条大麦を100%使用。
減圧蒸留ならではのふっくら香ばしく、芳醇なうまみと軽やかな味わい。

◆飲酒は20歳になってから。◆飲酒運転は絶対にやめましょう。◆飲みすぎに注意しましょう。◆妊娠中や授乳期の飲酒は胎児・乳児の発育に悪影響を与える恐れがあります。

日の出みりん キング醸造株式会社

日の出みりん 検索

お買い求めはお近くのスーパー、または日の出みりん キング醸造公式オンラインストア(はっぴ〜さん)にて

国際ロータリー第2680地区
ガバナー 矢野 宗司

事務所
〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-10-1 神戸ポートピアホテル本館7階722号室
TEL：078-304-2680 FAX：078-304-2681
E-mail yano2680@arrow.ocn.ne.jp